

平成25年度  
太宰府市家庭系生ごみリサイクル  
社会実験事業報告書

太宰府市

平成26年3月

## 目 次

1. はじめに	1
2. 社会実験事業の概要	2
3. 社会実験事業の実績	6
1) 生ごみの収集・運搬	6
2) 事業費	8
3) 参加世帯の意見	9
4. 成果と課題	18

---

## 参考資料

1. 参加世帯募集チラシ	19
2. 説明会資料	21
3. アンケート調査票	26
4. 収集運搬作業風景	28

## 1. はじめに

---

我が国におけるこれまでの大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会状況が続いていけば、資源の節約や廃棄物処理の限界を迎えることとなり、社会経済の持続可能な発展を妨げるおそれがあります。

こうしたことから、環境負荷を低減する循環型社会の構築を実現するために、ごみの減量やリサイクルの推進に取り組む必要があります。

太宰府市においても、将来のごみ焼却処理施設の老朽化や建替えの時期を見据え、地域に適したリサイクルシステムを模索しつつ、段階的に生ごみリサイクルの輪を広げていくとともに、生ごみリサイクルに対する市民意識の向上を図るために、太宰府市に適した都市型の家庭系生ごみリサイクルシステムを検討するにあたって、具体的なモデル事業の実施及び検証を行う必要があります。

## 2. 社会実験事業の概要

---

### 1)目的

家庭系生ごみリサイクル社会実験事業は、循環型社会の構築に向けたごみの減量やリサイクルの推進にあたって、将来のごみ焼却処理施設の老朽化や建替えの時期を見据え、本市に適した生ごみリサイクルシステムの検討のための第一歩として実施するものです。

具体的には、①排出者である市民に担っていただく生ごみの分別・ごみ出しなどの問題や、②太宰府市が行う生ごみの収集・処理の問題、③生ごみをリサイクルして生成された肥料の活用方法、④事業コストなど実際に実施してみないとわからない具体的な課題を抽出するために、試験的に生ごみの分別収集及び収集した生ごみの堆肥化を行ったものです。

### 2)参加世帯

本事業には57世帯に参加いただきました。

生ごみを分別収集する上での様々な課題を明らかにすることが目的であることから、様々な生活スタイルの市民に参加していただくことが予想される坂本区において実施することとし、募集チラシの配布等にて坂本区内に広く参加世帯を募りました。

### 3)実施期間

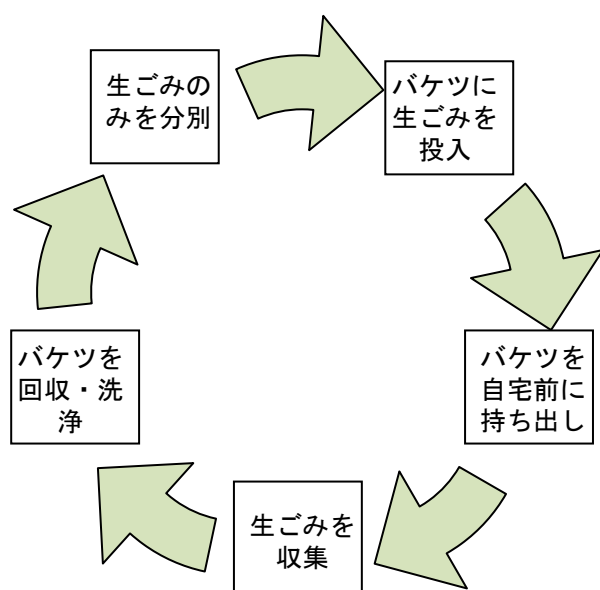
事業実施期間は平成25年8月20日(火)から平成25年12月27日(金)です。

ごみ収集の課題は季節によって異なることから、上記の夏から冬の期間にて実施しました。

#### 4)参加世帯における生ごみの分別と持ち出し

生ごみの分別については、各世帯において市が無料で提供する蓋付き密閉型バケツに生ごみのみを分別して投入していただきました。また、生ごみの腐敗や悪臭防止のために、投入の際に極力水切りを行っていただきました。

また、生ごみの持ち出しについては、バケツに入れた生ごみを、蓋を閉めた状態で自宅前に出していただき、そして、生ごみが収集された後は、各世帯においてバケツを回収・洗浄し、引き続きそのバケツに生ごみの投入を行っていただきました。



生ごみの分別と持ち出しのイメージ



参加世帯の自宅前に出された密封型生ごみ分別バケツ

#### 5)生ごみの収集

生ごみ分別収集等における課題を抽出するという本事業の目的から、生ごみの収集については、太宰府市が直営で行い、収集作業については、臨時職員2名を中心に行いました。

##### (1)収集の方法

密封バケツで出された生ごみの収集については、バケツから生ごみだけを移し替え、また、収集後空になったバケツについてはきちんと蓋をして、各世帯の自宅前で風の影響を受けにくい場所に返却しました。



生ごみ収集トラック

## (2)収集時間と収集曜日

その世帯の生活スタイルにより望まれる収集時間は違いますが、生ごみは、臭い等の要因により取り扱いが非常に難しいことから、各世帯から生ごみを収集した後のバケツの回収が早いことを収集の課題として優先し、本事業については朝の9時以降に収集を行いました。

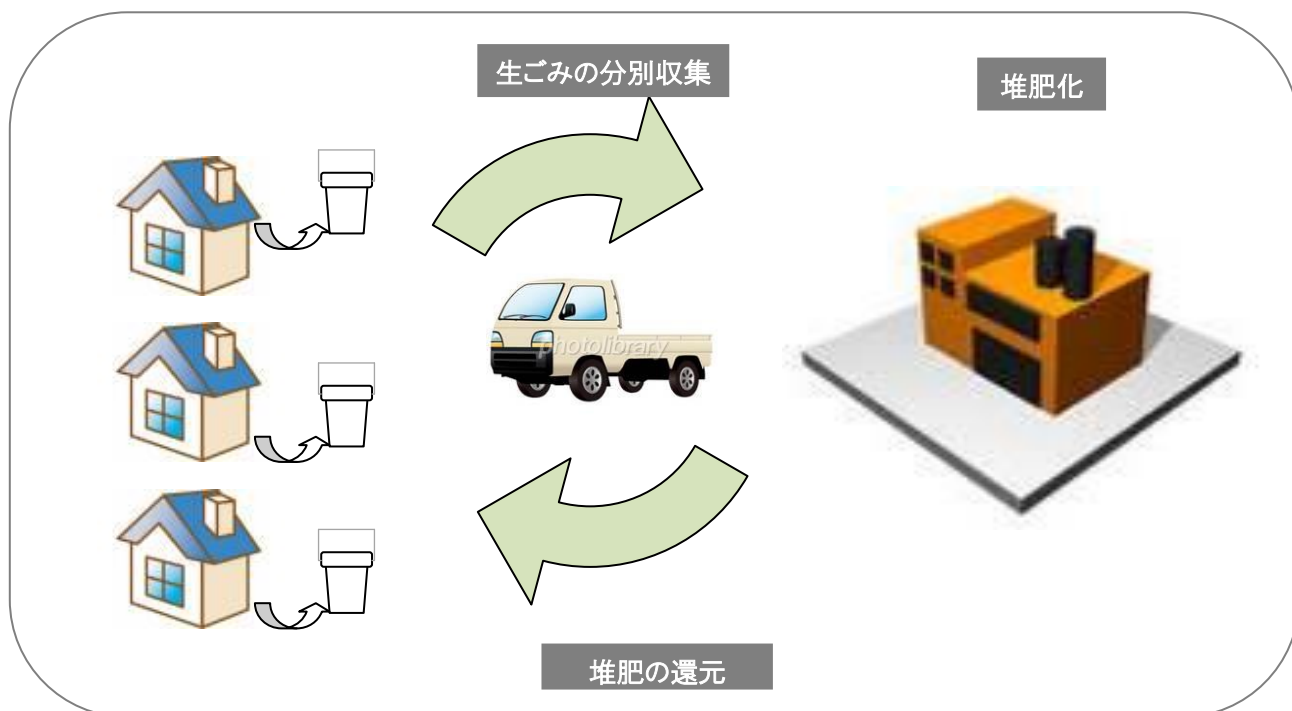
また、収集頻度については、生ごみの腐敗・悪臭防止のために週に2回とし、祝日等による収集に影響が出にくい火曜日・金曜日としました。



生ごみを移し替える収集作業員

## 6)生ごみの堆肥化

本モデル事業で収集した生ごみを一括してリサイクル処理できる施設は太宰府市内には無く、本市から最も近い位置にて安定した生ごみをリサイクル処理することができる有限会社鳥栖環境開発総合センター(佐賀県鳥栖市)に、収集した生ごみを搬入し堆肥化を委託しました。



事業の全体イメージ

## 7)参加世帯への還元

生ごみを「資源」としての地域循環を行うことが重要であることから、参加世帯には生ごみから生成された肥料と花の種を還元しました。



参加世帯に還元した生ごみから生成された肥料と花の種

## 8)事業スケジュール

	H25年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
堆肥化施設との協議	↔											
堆肥化処理施設所在市との協議	↔	→										
対象地区との協議		↔	→									
参加世帯の募集			↔	→								
参加世帯説明会				●●								
生ごみの分別収集と堆肥化					←	←	←	←	←	←		
アンケート調査									↔	↔		
参加世帯意見交換会											●	
課題の集約										←	←	←

### 3. 社会実験事業の実績

#### 1) 生ごみの収集・運搬

##### (1) 収集回数と排出世帯数

37回、延1,560世帯(5,075人)の生ごみ収集を行いました。1回の収集に平均で4

2. 2世帯が生ごみを排出、12. 4世帯は未排出でした。

また、4世帯が事業実施期間の途中で生ごみ排出がなされなくなりました。

月	収集回数	延排出世帯数	1回あたり排出世帯数	延排出世帯人数	延未排出世帯数	1回あたり未排出世帯数
8月	4	152	38.0	472	28	7.0
9月	8	346	43.3	1,136	91	11.4
10月	9	388	43.1	1,292	125	13.9
11月	8	349	43.6	1,137	107	13.4
12月	8	325	40.6	1,038	107	13.4
計	37	1,560	(平均) 42.2	5,075	458	(平均) 12.4

##### (2) 生ごみ排出量

延べ2,530kg、収集1回あたり68. 4kg、1世帯1回あたり1,621. 8gの生ごみが排出されました。これは、1世帯が1日に463. 4g、1人が1日あたり142. 4gの生ごみを排出した計算になります。

月	排出量【kg】	1回あたり排出量【kg】	1世帯1回あたり排出量【g】	1世帯1日あたり排出量【g】	1人1回あたり排出量【g】	1人1日あたり排出量【g】
8月	250	62.5	1,644.7	469.9	529.7	151.3
9月	510	63.8	1,474.0	421.1	448.9	128.3
10月	640	71.1	1,649.5	471.3	495.4	141.5
11月	610	76.3	1,747.9	499.4	536.5	153.3
12月	520	65.0	1,600.0	457.1	501.0	143.1
計	2,530	68.4	1,621.8	463.4	498.5	142.4

##### (3) 収集運搬の距離と要した時間

排出生ごみの収集ルートは8kmで要した時間は平均92分(最小77分、最大127分)でした。また、佐賀県鳥栖市の処理場までの生ごみ運搬の往復は、43kmで平均76分(最小67分、最大105分)を要しました。所要時間の最大、最小に大きな差があるのは道路渋滞によるものです。

区間	距離【km】	所要時間【分】		
		最小	最大	平均
生ごみ収集(市役所ー各参加世帯ー市役所)	8	77	107	92
処理場への運搬(市役所ー処理場ー市役所)	43	67	105	76
計	51	-	-	168

なお、上記の時間以外に、収集準備に20分、途中休憩等20分、バケツ洗浄等の片付けに20分、データ整理等に20分、合計すると1回あたり248分程度を要しており、これは0. 533日分の労働時間になります。



#### (4)異物の混入

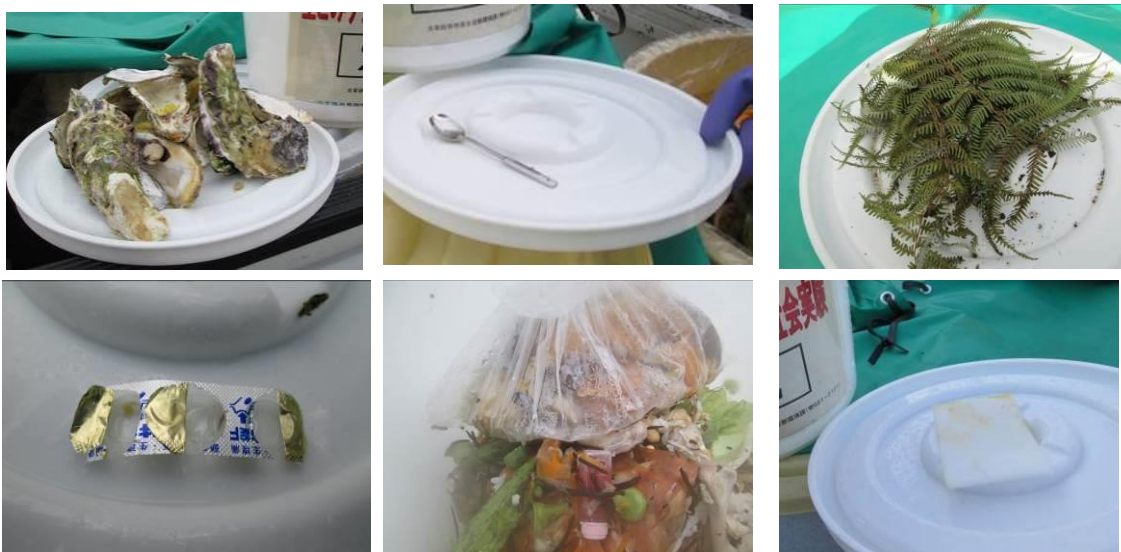
収集時に目視で確認した異物の混入は121件、147個。1回の収集で平均3.3件（最小0件、最大7件）ありました。異物が混入する世帯の割合は平均7.8%（最小0%、最大15.9%）でした。

排出世帯ごとに見ると、実験区域内保育園12世帯を除く45世帯で、異物混入が一度も無かったのは5世帯、最も多かった世帯は8回の混入があり、1世帯で平均2.6回の異物混入がありました。

また、混入した物は、プラスチック類が圧倒的に多く全体の約6割を占めていました。

種類	混入個数	主な混入品目
プラスチック類	89	菓包装⑩、バラ⑤、弁当用おかず入れ④、調味料袋④、スプーン②、ストロー②、ストロー袋②、ラップ②
紙類	23	お茶・麦茶バッグ⑧、コーヒーフィルタ④、ティッシュ③、新聞②、牛乳パック①、ティーバッグ①
植物	10	花⑦、草②、枝①
アルミ	8	アルミホイル⑤、ヨーグルトふた②、カップラーメン粉末スープ入れ①
貝殻	7	あさり・しじみ⑥、カキ①
木類	3	竹串②、アイス棒①
金属	1	ステンレス製スプーン①
その他	6	輪ゴム③、スポンジ②、シリカゲル①
合計	147	

※○内の数字は混入個数



収集時に確認された主な混入異物

## 2)事業費

本事業に要した総事業費は472,412円でした。生ごみ分別バケツや、トラックシートなどの初期投資として購入した91,048円を除くランニングコストは381,364円となり、これは生ごみ1kgあたりに150.7円の処理費用を要したことになります。

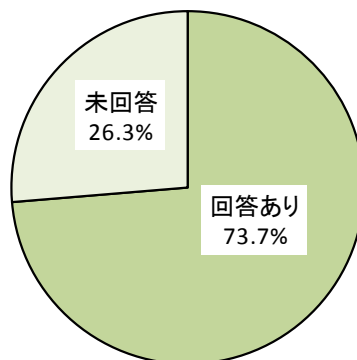
参考として、現在、福岡市に委託しているごみの焼却と焼却灰の埋立費用の17.6円(H25年度委託単価)と、ごみ収集運搬に係る費用20.4円(H24年度委託実績)を合計すると38.0円であり、単純に比較すると、今回の生ごみリサイクルの費用は焼却処理よりも4倍の経費を要しました。

事業費目	事業費内容	事業費【円】
人件費	賃金: $6,000円 \times 2人 \times 37回 \times 0.533 = 236,785円$ 雇用保険料: $28,000円 \times 37日 \div 244日 \times 0.533 = 2,264円$ 社会保険料: (8月) $32,994円 \times 4日 \div 22日 \times 0.533 +$ (9月~12月) $33,350円 \times 4ヶ月 \times 33日 \div 80日 \times 0.533 = 32,545円$ 労災保険料: $10,000円 \times 37日 \div 244日 \times 0.5333 = 809円$	272,403
消耗品費	生ごみ分別バケツ(60個): 78,120円 マスク、手袋、トラックシート、ウェットティッシュ、消臭剤、バケツ洗淨用具ほか消耗品: 30,406円	108,526
燃料費	$51km \times 37日 \div 8km \times 162.6円 = 38,353円$	38,353
堆肥化処理費	$2,530kg \times 20円 \times 1.05 = 53,130円$	53,130
	計	472,412

### 3)参加世帯の意見

#### (1)アンケート調査

事業参加全世帯(57世帯)を対象にアンケート調査を行ったところ、42世帯(73.7%)の回答がありました。



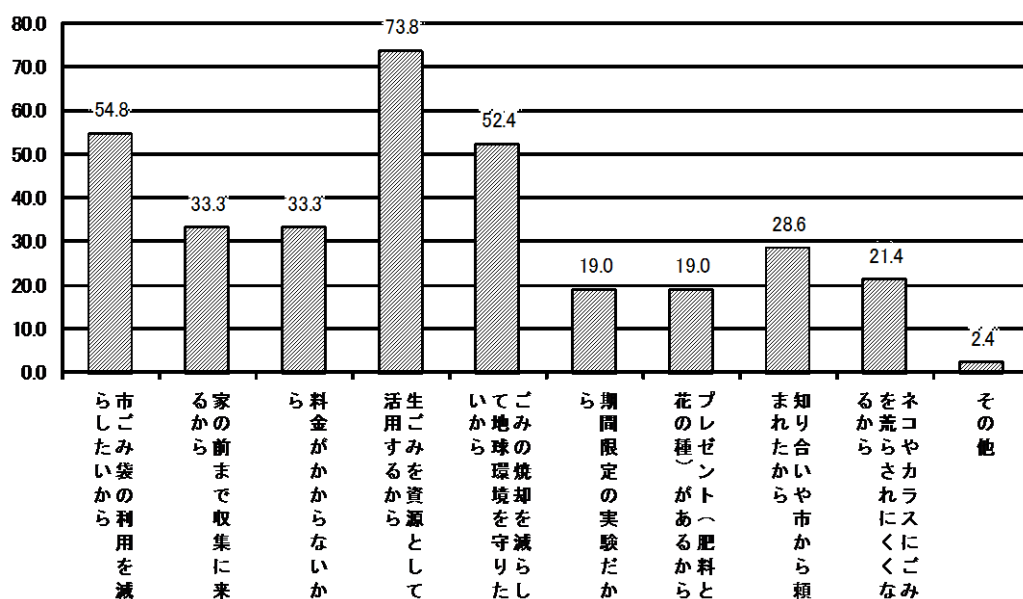
全体(N=57)

問1. 生ごみリサイクル社会実験事業に参加された理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・生ごみを資源として活用するから(73.8%)
- ・市ごみ袋の利用を減らしたいから(54.8%)
- ・ごみの焼却を減らして地球環境を守りたいから(52.4%)

(%)

全体(n=42)

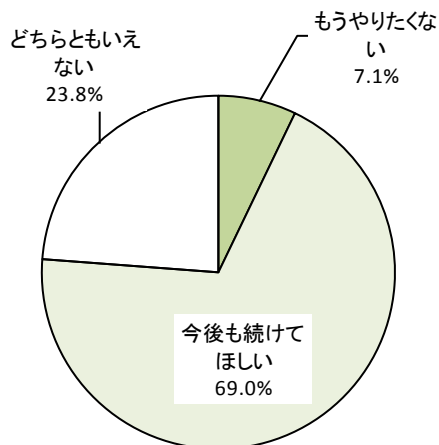


<その他>

・どんなものか試してみたかった

問2. 生ごみを分別収集することについてどう感じましたか(○は1つ)

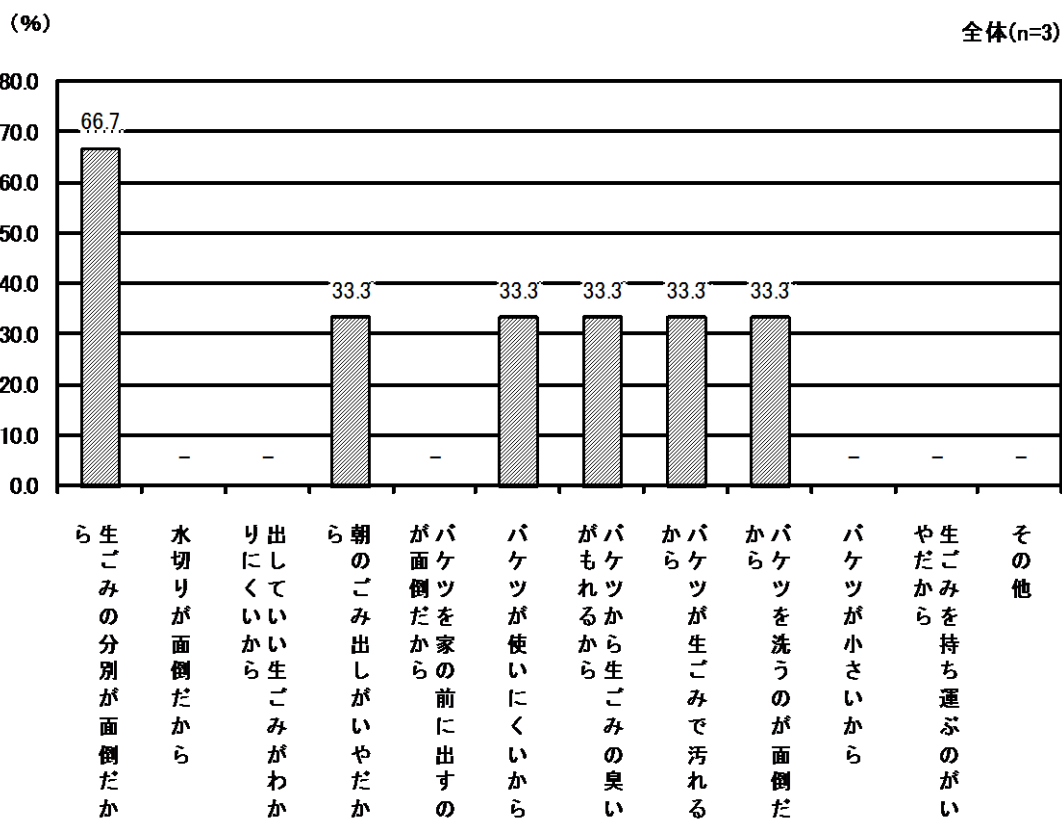
・今後も続けてほしい(69.0%)



全体(N=42)

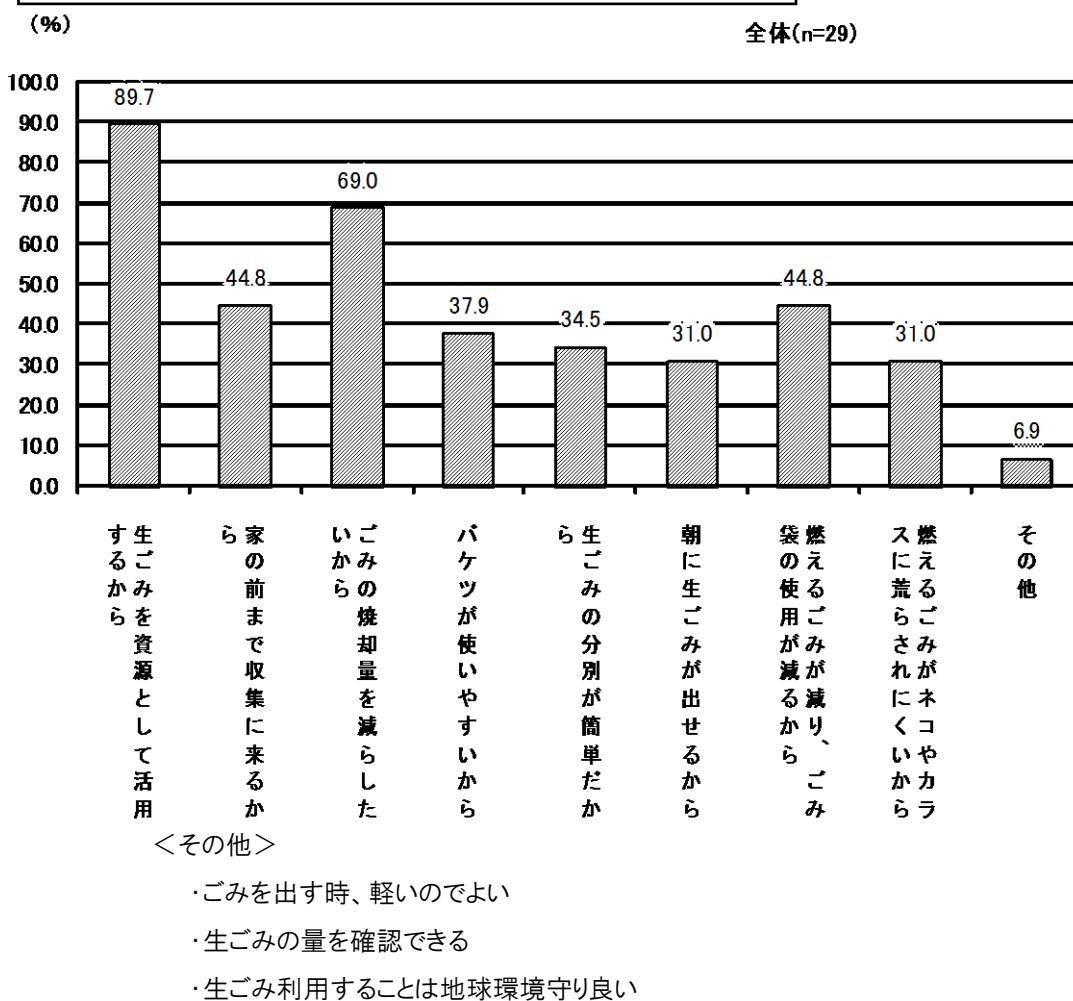
問2-1. (問2で「1. もうやりたくない」と答えた方のみお答えください。) 「もうやりたくない」理由は何ですか(○はいくつでも)

・生ごみの分別が面倒だから(66.7%)



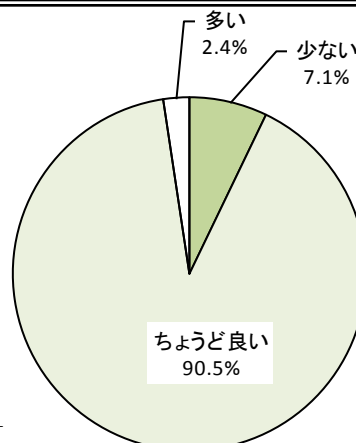
問2-2. (問2で「2. 今後も続けてほしい」と答えた方のみお答えください。)「今後も続けてほしい」理由は何ですか(○はいくつでも)

- ・生ごみを資源として活用するから(89.7%)
- ・ごみの焼却量を減らしたいから(69.0%)
- ・家の前まで収集に来るから(44.8%)
- ・燃えるごみが減り、ごみ袋の使用が減るから(44.8%)



問3. 週に2回の収集頻度についてどう感じますか。(○は1つ)

- ・ちょうど良い(90.5%)



問4. 生ごみリサイクル社会実験について、お気づきの点、ご意見件等ございましたらご記入下さい。

#### <社会実験事業について>

- ・ 我が家でも以前より生ごみリサイクルをやっていましたが、ごみ減量を市民のみなさんにも考えてほしく実験に参加しました。
- ・ 地球環境について考えられるよい機会ですので一人でも多くの方に浸透して欲しいと思います。
- ・ 地球環境にとっても良い実験だったと思います。この積み重ねが子ども達の明るい未来につながると信じています。
- ・ 改めて家庭のゴミを考えるいい機会となりました。
- ・ ナマゴミが資源として活用されるので良いと思う。
- ・ 生ゴミを有効に使うことにより地球を守れると思うと、心がうれしくなる。
- ・ ゴミの焼却量を少しでも減らし、生ごみの資源化を計れば地球環境にも良いのではないか。
- ・ 続けて欲しい。
- ・ これからも是非続けてほしいです。
- ・ ずっと続けても良いと思います。
- ・ 折角やっとなれて来たのに残念です。
- ・ 我が家にとっては大助かりだったので『やめるとこまる！！』が一番です。これからも続けて欲しいと熱望いたします。
- ・ 今後も続けて欲しい。
- ・ ゴミはどんどん増えていきます。このシステムをとり入れることにより少しでも未来の地球のためになるなら続けていきたいと思います。
- ・ 今後も続けて欲しいところですが、いろいろなルール作りが必要でしょうね。
- ・ 資源化等の諸費用は相当かかると思われるが少しでも今後は生ごみの資源化を実施していくべきでは。
- ・ 期間中は「もえるごみ」中身がとても軽くなりました。
- ・ 生ゴミを資源として活用することや、バケツの使用も良かったし、燃えるゴミが減ることも良かった。
- ・ 生ゴミを回収していただき、プラや紙類も週1度市役所にもっていくので、燃えるごみは2週間に一度ですみました。
- ・ ネコ・カラスに荒らされず、ごみ袋の使用も減り、家の前まで収集に来るので助かった。
- ・ 実験段階では、協力的な考えの方がかりなので可能だが、これを市内全世帯となると絶対に無理な取り組みだと思う。

#### <生ごみの分別・保管について>

- ・ 慣れれば簡単でした。
- ・ やりだした当初は分別して週2回出すのが面倒くさいと思ったが、慣れればそう面倒くさくもなくなった。
- ・ 水切りが上手にできないのも悩みで、続けることができませんでした。
- ・ 水切りが面倒だった。
- ・ 家族の性格、主婦の確認、学びました。
- ・ 異物混入に家族全員大変気を使いました。も少し気楽に出来ればと思いますが・・・？

- ・ 小さなプラスチック類が気を付けていても混入してしまいます。1人1人の努力、協力が必要ですね。
- ・ 今回の実験、気を付けてはいたが、家族が多く子どももいる為、お菓子の包み紙や菓の切れはしなど生ゴミにまざってしまう事があり、細かい物まで点検しながらの分別はとてもできないと思った。
- ・ 参加者の方に収集日までの生ゴミの保管方法や工夫したこと等、意見を集約されては？この取り組みを広げるにあたって新たに参加する方に臭いの不安を取り除けると思います。
- ・ バケツに入れるまでの工夫を知りたい。
- ・ 我が家ではバケツは家の中に置き、毎日生ごみは新聞紙に包み買い物袋に入れ収集日に新聞紙から取り出していました。
- ・ 夏季の生ゴミについて、日影が無いのでどうすれば良いのか？
- ・ 実験の開始が8月下旬～だったのですが、梅雨から夏季にかけての生ごみの臭いなど今後続ける場合懸念されます。
- ・ 夏は生ゴミの腐乱が早いので、冷蔵庫で保管したりしました。それでニオイ等はおさえられたと思いますが、少々手間ではありました。
- ・ 夏は特に臭いがすると思っていたが、フタがきちっとしまつて密閉されるので臭いはあまり感じなかった。
- ・ 冬はベランダに置いていましたが、特に問題はありませんでした。
- ・ 生ゴミリサイクルはいい事だと思いますが、仕事から帰ってきて生臭いバケツを処理するのがどうしても嫌でした。
- ・ バケツを洗う手間がなかったらとてもいいです。

#### <生ごみ分別バケツについて>

- ・ もう少し大きいバケツにして続けてほしい。
- ・ 世帯の家族人数によっては今回利用したバケツは小さいように思われます。
- ・ 世帯人数が多いのでバケツ1個では不十分であった。バケツの大きいものはないか。

#### <共同住宅について>

- ・ マンションの人は生ゴミバケツを洗う場所に困りそう。
- ・ 集合住宅故に臭気漏れを気にし野菜・果物に限定してバケツに投入した。それ以外のものは一般ごみとして出した。
- ・ 集合住宅の全戸が実験に協力した場合、収集バケツの置場のスペースの問題、各戸へのバケツの持ち帰りに混乱を生じる可能性大。
- ・ 集合住宅の場合、バケツの洗浄場所がない。戸建と集合住宅の機能性を十分検討することが必要である。

#### <生ごみの収集について>

- ・ 夏は週に2回でよいですが、冬は1回でよいと思います。
- ・ 冬はいいけど、夏は週2回では少し臭う、でもふつうのゴミ出しも週2回なのでしかたがないと思う。週1回になるとつらいかも。
- ・ 出し忘れた時、1週間分の生ゴミを出して良いのか？
- ・ 朝早く回収だともっといい、バケツを取りこんで出かけられるから。
- ・ 生ゴミリサイクルに出す日が通常のゴミ出し日と違う事で忘れてたり、ごみ出しを気に

したりすることが面倒。同じ日、時間に出来れば続けて欲しい。

- ・ 回収の方々が一軒ずつだったので大変だったと思います。出す方はラクでしたが、昔のように回収箱を置きその中に入れるようにするといいと思います。

#### <肥料の利用について>

- ・ 福岡市のように肥料にして安く手に入るようお願いします。できれば配達もしていただければ助かります。
- ・ 生ゴミが堆肥化され製品化された場合の品質管理、販売分野の検討等、現実的消化法も含めどのような施策を考えているのかも併せて説明願いたい。

#### <その他>

- ・ 集合住宅の参加率、一般戸建ての参加率等のデータはそのうち発表されると思いますが、広報だざいふ等に市の考えを市民に十分に知ってもらえるよう当問題に関する広報活動を願う。
- ・ ダンボールコンポスト法などとの協働作業をどのように発展させていくのかも将来の課題と思っている。
- ・ 発泡スチロール(トレイ)のみを回収すべきだ。
- ・ 私は4回出し忘れしました。
- ・ 実際にこの体制でされてある地域(市外でも)があれば状況が知りたいです。



## (2)参加世帯意見交換会

生ごみリサイクルが終了した後に、坂本区公民館において参加世帯から意見を伺いました。

### <ごみ量について>

- ・ごみが半分に減った。ごみ袋代もバカにならない。

### <ごみ出し場所について>

- ・うちは通常のごみ出しで収集車が家の前まで来ないので、今回の生ごみ収集は家の前まで来てくれて、ごみ出し場所が近いのが良かった。

### <生ごみの分別・保管>

- ・生ごみ専用の入れ物を別に置いてそれに生ごみを分別したので、異物は一切入らなかった。分別は別に面倒とも思わなかった。
- ・今まで使っていたごみ袋を入れておくポリバケツは、カラスがつついて穴が開くこともあった。
- ・この密封バケツは優れものだ。
- ・バケツは室内に置いていたが、室内の方が日も当たらずに臭わないかもしれない。

### <共同住宅での参加について>

- ・マンションはバケツを洗う場所がないことが厳しいかも。
- ・マンションの他の入居者に指摘されたらと思って、ごみ出しには階段を使った。
- ・赤いごみ袋でごみ出しする方がエレベーター内は臭うのでは。
- ・私のマンションは41世帯あり、うち2世帯が参加した。洗い場があるのだがペット用なのでそこで洗うとクレームが出るだろうと思って使わなかった。

### <収集作業について>

- ・収集作業員の大変さを聞くと、戸別収集でなく、まとめて出すようにすれば少しは改善されるかも。それで人件費コストも抑えられるのでは。
- ・54世帯の収集で収集作業員からはこんなに悲鳴が出ている。今後続けるにしても回収方法を考えないと収集作業をやる人がなくなる。

### <事業コストについて>

- ・経費が高くかかっているのが課題。
- ・かなりのコストがかかっている「とんでもない」と感じる。そんなに金をかけてまでやるべきなのか。
- ・市は経費を頭に置かないでこういった事を続けるのか。普通の会社だったら倒産する。
- ・数年後にトントンになるとか、改善が見込めるから協力してもらえんかということであれば協力せんこともないが、赤字やったらせん方がいいよ。
- ・こういう風に経費がかかるからどこの市町村も取り組まないのでは。

### <実験を終えて今後について>

- ・非常にありがたかった。夏の間だけでもこの事業をやってほしい。
- ・太宰府では生ごみをリサイクルしても「肥料ができた、引き取り手がない」ということになる。それでもコストをかけてでもやるつもりか。40年前から生ごみの資源化は言わ

れているがどこも成功していない。ダンボールコンポストなんかもやっているが広がらない。市はどういう意図でこの実験を企画したのか。

- ・ じゃぶじゃぶ燃やせという時代ではないのだろうけれど、このままいくとじゃぶじゃぶ燃やすしかなくなるので、何か考えないといけない。
- ・ 東京の小金井市は生ごみの粉碎機に補助をしているが、太宰府市ではこの社会実験に次ぐ第2第3の手はあるのか。
- ・ 今後、市が生ごみリサイクルをするかせんかは別として、こうした問題点をいかしてほしい。それが社会実験の意義だろうと思う。
- ・ 一昔前はペットボトルも何もかも燃えるごみだった。そのうち生ごみも家庭で処理できるようになる時代が来ると思う。そうした開発にお金をかけた方がいいのでは。
- ・ この実験を通して家庭のごみが多いのか少ないのか、改めて自分の家のごみを見直すことができた。
- ・ 生ごみは水分が多く含まれているので、生ごみが無くなると焼却炉の燃焼効率がよくなる。コストも大事だが、子供たちの事を考えると今できることをやらないといけない。

#### 4)収集運搬作業担当者の意見

本事業の収集運搬を担当した者からは下記のような意見がありました。

##### <参加世帯の生ごみ分別について>

- ・ 収集対象外物(異物)の混入が続く世帯に対してたびたび混入防止をお願いしたが、混入を完全に排除するのは困難と感じた。
- ・ 協力的な世帯が多かった為、マナーの悪い世帯は基本的に少なかった。

##### <収集運搬時における生ごみの臭いについて>

- ・ 生ごみバケツを洗浄していない世帯の収集は、臭気だけでなく視覚的にも気分が悪かった。
- ・ 夏～秋は基本的に臭いがきつかったが、生ごみから水分が多く出ていると、発酵カスが浮いていて、特に臭い(視覚的にも)がきつかった。
- ・ 臭いによるものかは分からないが生ゴミ収集をした後は全身がだるかった様に感じた。
- ・ 魚介類が入ったバケツは特に臭いがきつかった。
- ・ 生ごみ収集を始めて暫くは家に帰った後お風呂に入った時やふとした時に生ごみの臭いがするかのよう感じた。

##### <収集の手間について>

- ・ 使用済みのお茶の葉が入ったバケツの収集には時間がかかった。(お茶の葉が取れにくい)
- ・ 夏～秋は生ごみから水分が多く出ていると収集の際、水分を切るのに時間がかかった。
- ・ バケツを洗浄していない世帯の収集は生ごみがこびりついてヘラを使っても中々取れない事もあった。

##### <収集時の交通安全について>

- ・ 頻度としては少なかったが、「収集作業による車両の一時停止」によって一般通行人の通行や一般車両の交通の妨げになることが発生した。

##### <収集運搬に係る人件費について>

- ・ 生ごみ収集作業は普通のごみの収集作業と違い、生ごみを移し替える為臭い、見た目共にダイレクトな分精神的にもかなりきついため、日当6,000円で収集作業を行う人は少ないと思う。
- ・ 今後、収集世帯数が増えた場合や収集期間が長くなった場合は、日当6,000円で収集作業員に応募してくる人がいるだろうか。
- ・ 日当6,000円では今の職場環境、人間関係でなければ途中で仕事を辞めていたかもしれない。

## 4. 成果と課題

### 1) 成果

本実験の実施により、下記の成果を得ることができました。

- ① 地域と連携した呼びかけにより、こうした参加世帯に負担を伴う実験にも多くの世帯に参加いただくことができました。
- ② 実験への参加やアンケートへの回答からも、生ごみリサイクルや資源循環に関する市民の意識の高さがうかがえます。
- ③ 多くの参加世帯からこの事業の継続を支持されました。
- ④ 生ごみの分別収集により、可燃ごみの減量効果が高いと、参加世帯から評価されました。
- ⑤ 今回使用した密閉型生ごみ分別バケツについて、多くの参加世帯から高く評価されました。
- ⑥ 生ごみの分別については、慣れればそう難しくないとの意見が多く聞かれました。
- ⑦ 週2回の収集頻度について、多くの参加世帯から評価されました。
- ⑧ 生ごみの腐敗と臭いが最も厳しい夏場においても、この実験方法で大きな問題なく実施することができました。

### 2) 課題

本実験の実施により、今後の生ごみリサイクルの検討にあたって、下記のような課題が明らかになりました。

- ① 25年～30年後の将来のごみ焼却処理施設の老朽化や建替えの時期を見据え、焼却ごみの減量、焼却灰の埋立量の減量といった将来の環境負荷の軽減、また、焼却炉の規模の縮小と建設経費の軽減を目指し、今の時期から生ごみリサイクルとその循環について、どういったことができるかを検討することを目的とした実験の必要性を、関係者が明確に共有する必要があります。
- ② 生ごみ分別時における有効な水切り方法の検討が求められます。
- ③ 安全で高品質の生ごみの堆肥化のためには、異物の混入を防止し、高い分別精度が求められ、また、そのための参加世帯への周知方法の検討が求められます。
- ④ 将来の環境負荷軽減等が目的とはいえ、通常の可燃ごみ処理よりもコストが4倍近くかかっているため、より安価で効率の良い方法の検討が求められます。
- ⑤ 排出世帯数と収集運搬作業の効率バランスの良い方法の検討が求められます。
- ⑥ 収集作業の負担軽減、収集運搬効率を向上させるために、戸別収集以外の方法も検討する必要があります。
- ⑦ 共同住宅での実施については、他の入居世帯、管理組合や管理会社等の理解に配慮する必要があります。
- ⑧ 世帯によって異なる生ごみ排出量に対応する生ごみ分別容器の提供が求められます。
- ⑨ 継続的な事業実施の可能性を把握するために、1年間を通じた実験の実施の必要があります。

## 参考資料



## 1. 参加世帯募集チラシ

**参加者募集!**

あなたの参加をお待ちしております!!

# 坂本だけの 生ごみリサイクル 社会実験!

**有機肥料と花の種をプレゼント!!**  
この社会実験の参加者には、生ごみからできる窒素とりん成分が豊富な有機肥料と花の種をプレゼントいたします。

- ◇募集期間 6月26日(水)～7月16日(火)
- ◇募集世帯 50世帯(申込み多数の場合は抽選となります)
- ◇実施期間 8月下旬～12月の期間のみ
- ◇申込方法 申込用紙を切り取って、高瀬自治会長か隣組長に持参するか、市役所環境課に電話でお申し込み下さい。

※参加者を対象に、坂本区公民館において  
・平成25年7月27日(土) 11時～  
・平成25年7月31日(水) 19時～ にて詳しい説明会を開催します。

問い合わせ先: 高瀬自治会長 TEL:921-0537  
太宰府市 市民生活部 環境課 廃棄物対策係 担当:大石、山崎 TEL:921-2121

### ----- きりとり線 ----- 申 込 用 紙

名前		電話番号	
住所		世帯人数	人

詳細は裏面をご覧ください

# 生ごみリサイクル社会実験って何？！

## ■全世帯が参加しなければならないの？

いいえ。参加を希望される世帯のみを対象に行う実験事業です。

## ■実施する期間は？

平成25年8月下旬から平成25年12月までの期間のみ行います。

## ■どうやって生ごみを出せばいいの？

密封できるフタ付きの専用のバケツを市から無償でお配りします。そのバケツに生ごみだけを入れておいて、決められた日にそのバケツを家の前に出してください。

## ■生ごみを入れたバケツはいつ出せばいいの？

毎週火曜日と金曜日の朝9時以降に収集しますので、それまでにご自宅の前にバケツを出しておいて下さい。

## ■生ごみはどう収集されるの？

市の職員がトラックで各世帯に伺い、バケツから生ごみだけを収集し、バケツは各世帯の家の前の風に飛ばされないところにお返しします。

## ■参加世帯の手間になることは？

生ごみをバケツに入れる時にできるだけ水を切ってくださいことと、市が生ごみを収集した後、バケツを引き上げて洗っていただくことについては、各世帯においてお願いいたします。  
それと、後日実施するアンケートにご協力をお願いいたします。

## ■参加世帯で費用がかかることは？

生ごみを入れるバケツは市から無償でお配りします。費用は一切かかりません。

## ■収集した生ごみはどうなるの？

堆肥化施設において肥料にし、参加世帯には肥料を後日プレゼントさせていただきます。



生ごみからできる有機肥料



密封型生ごみ分別バケツ





## 生ごみリサイクル社会実験説明会

と き：平成25年7月31日（水）19：00～

ところ：坂本区公民館

1. 市環境課長あいさつ
2. 高瀬自治会長あいさつ
3. 実施方法について
4. 質問等

# 生ごみリサイクル社会実験の実施方法

## 1. 実験の実施期間

平成25年8月20日（火）から平成25年12月27（金）までの期間で実施します。

## 2. 生ごみ分別バケツの持ち出し日時


毎週火曜日と金曜日の午前9時までに生ごみ分別バケツを出して下さい。

※別紙カレンダーをご参照ください。

※11月22日（金）は生ごみ収集をお休みいたします。

## 3. 生ごみ分別バケツの持ち出し場所

基本的に、参加世帯のご自宅の家の前の道路沿いに、通行の妨げにならないように出して下さい。

※別紙写真を参考に、付近に出して下さい。

## 4. 生ごみの収集について

午前9時以降に順次、市職員がトラックで各世帯を生ごみ収集に伺います。

家の前に出されている生ごみ分別バケツから生ごみだけを収集していきます。

※生ごみ収集は、夜の収集ではありません。

※生ごみ以外のごみは、通常夜の収集に出して下さい。

## 5. 生ごみ分別バケツの返却

生ごみの収集後、分別バケツは各世帯の家の風に飛ばされにくいところに置いていきます。

※バケツの洗浄は各世帯においてお願いします。

## 6. 生ごみ分別の方法

(1)調理くずや食べ残しなどを分別バケツに入れて下さい。

入れられるもの	入れられないもの
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 野菜くず</li><li>・ 食べ残し</li><li>・ 魚の骨、あら</li><li>・ 鳥の骨</li><li>・ 果物</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 割りばし</li><li>・ つまようじ</li><li>・ スプーン</li><li>・ フォーク</li><li>・ バラン</li><li>・ 水切りネット</li><li>・ 草・花</li><li>・ 落ち葉</li><li>・ 木の枝</li><li>・ 木の実</li><li>・ 調味料だけ</li><li>・ 貝がら</li><li>・ 天ぷら油</li></ul>

(2)できるだけ水を切って下さい。

(3)分別バケツのフタをしっかりとめて下さい。

(4)生ごみはレジ袋やビニール袋の中に入れて下さい。

## 7. その他

(1)生ごみ分別バケツは、各世帯に1個ずつ配布いたします。

※バケツが1個で足りない場合、バケツの追加はできますが、まずは1個でお試し下さい。

(2)生ごみ分別バケツに記載している番号は、各参加世帯ナンバーです。

(3)参加世帯には、後日、アンケート調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

(4)参加世帯には、生ごみからできる有機肥料(15kg)と花の種をプレゼントいたします。

※プレゼントのお渡しは12月を予定しています。

## アンケートにご協力ください

○ご多忙のところ恐縮ですが、実験の主旨をご理解いただき、うら面のアンケートにご協力ください。

○設問にそってご記入いただき、同封の返信用封筒で、  
**平成26年1月10日(金)まで**に、郵便ポストに投函ください。

### ★ご記入上の注意

1. 各質問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をつけて下さい。  
質問文章に「○は1つ」、「○はいくつでも」など指定がある場合は、その指定どおりにお答え下さい。
2. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、指示にそってお答え下さい。
3. 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）内に具体的にご記入下さい。

## 生ごみリサイクル社会実験アンケート調査

問1 生ごみリサイクル社会実験事業に参加された理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. ごみ袋の利用を減らしたいから
2. 家の前まで収集に来るから
3. 料金がかからないから
4. 生ごみを資源として活用するから
5. ごみの焼却を減らして地球環境を守りたいから
6. 期間限定の実験だから
7. プレゼント(肥料と花の種)があるから
8. 知り合いや市から頼まれたから
9. ネコやカラスにごみを荒らされにくくなるから
10. その他( )

問2 生ごみを分別収集することについてどう感じましたか(〇は1つ)

1. もうやりたくない →問2-1へ
2. 今後も続けてほしい →問2-2へ
3. どちらともいえない →問3へ

問2-1(問2で「1. もうやりたくない」と答えた方のみお答えください。) 「もうやりたくない」理由は何ですか(〇はいくつでも)

1. 生ごみの分別が面倒だから
2. 水切りが面倒だから
3. 出していい生ごみがわかりにくいから
4. 朝のごみ出しがいやだから
5. バケツを家の前に出すのが面倒だから
6. バケツが使いにくいから
7. バケツから生ごみの臭いがもれるから
8. バケツが生ごみで汚れるから
9. バケツを洗うのが面倒だから
10. バケツが小さいから
11. 生ごみを持ち運ぶのがいやだから
12. その他( )

問2-2(問2で「2. 今後も続けてほしい」と答えた方のみお答えください。) 「今後も続けてほしい」理由は何ですか(〇はいくつでも)

1. 生ごみを資源として活用するから
2. 家の前まで収集に来るから
3. ごみの焼却量を減らしたいから
4. バケツが使いやすいから
5. 生ごみの分別が簡単だから
6. 朝に生ごみが出せるから
7. 燃えるごみが減り、ごみ袋の使用が減るから
8. 燃えるごみがネコやカラスに荒らされにくいから
9. その他( )

問3 週に2回の収集頻度についてどう感じますか。(〇は1つ)

1. 少ない
2. ちょうど良い
3. 多い

問4 生ごみリサイクル社会実験について、お気づきの点、ご意見等ございましたらご記入下さい。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒で、1月10日(金)までにご投函下さい。

#### 4. 収集運搬作業風景

